



第三十三卷 第二號

中國上代は封建制か都市國家か

.....宮 崎 市 定

シュメール人の家族に就いて

.....中 原 興 茂 九 郎

上代地方豪族存在形態の一考察

.....横 田 健 一

近畿の歴史的都市とその變貌

.....藤 岡 謙 二 郎

學界展望・書評・著書論文目錄・學界消息

せられた現今の學界の情況において「史林」の如き各學科の綜合雜誌の存在すべき餘地が果してありや否や。思うに、國史、東洋史、西洋史等の研究論文が、常に世界史的立場を背景に書かれていることはいうまでもないが、併し、具體的に一つの世界の歴史事象の意義を眞に理解するためには、やはり、他の世界の類似の事象を捉え、これと比較し、乃至はその事象との聯關を辿ることによつて始めてなしうる所である。かゝる意味において『史林』の如き綜合雜誌は國史、東洋史、西洋史等の如き各専門雜誌の企画しえない編輯方法も可能なわけである。即ち、ある一つの歴史事象について、夫々、各分野の歴史的視角から、同一の問題を究明することによつて、そこに始めて各世界における同一問題の聯關性と特殊性とが具體的に明らかにならる。本號はかゝる立場から『古代の都市國家』の問題をとりあげ、各専門家の立場から、夫々問題を提起して戴いたもので、吾々の企圖する編輯方針も若干充足せられたものと信ずる。

因みに、本號執筆の宮崎市定博士は、いう

までもなく、京大東洋史學科教授、中原與茂、九郎氏は廣島大學西洋史學科教授、横田健一氏は關西大學教授、藤岡謙二郎氏は京大助教である。

尙、學術雜誌は單に研究論文を掲載するのみならず、學界の情勢動向をも讀者に報告する義務がある。かゝる點では、從來「史林」

はその義務を充分に果しえなかつたのに鑑み、今後はこの使命をも十二分に達成するために、月刊として再發足することになつた。たゞ本年は準備の都合で、その實現は困難であるから、現在は隔月刊の方針を以て計画を進めている。讀者諸賢の御期待と御聲援とを切望する次第である。(佐伯富)

1950年4月1日印刷
1950年4月5日發行
史林 價80圓

京都市左京區吉田本町
京都大學文學部内
編輯 史學研究會
代表者 佐伯 富
印刷者 大日本株式會社
京都工場
發行 教育タイムズ社出版部
大阪市東區南新町一ノ六
代表者 岸本 貞三郎
振替大阪七一九二〇

史學研究會會則

- 第一條 本會ハ史學研究會ト稱スル
- 第二條 本會ノ事務所ヲ京都大學文學部陳列館内ニ置ク
- 第三條 本會ハ京都大學文學部史學科ヲ中心トシテ同好ノ士相集マリ史學ニ關スル研究ヲナスコトヲ目的トスル
- 第四條 本會ノ事業ハ概テ左ノ通りデアル
- 一、會 合
- 二、研究、調査及ビ見學
- 三、會誌（史材）等ノ發行
- 第五條 本會ニ理事長一名、理事三名、評議員十五名、委員若干名ヲ置ク
- 第六條 評議員ハ會員ノ選舉ニ依リ委員ハ理事會コレヲ囑託スル理事ハ評議員ノ互選トシ會務ヲ處理シ理事長ハ理事會コレヲ推薦シ本會ヲ代表スル
- 第七條 評議員ハ會務ヲ協議シ委員ハ編纂、會計、庶務ヲ分掌スル
- 第八條 役員ノ任期ハ二ケ年トスル、但シ再任スルコトガ出來ル
- 第九條 毎月一回例會ヲ開ク、會場ナドハソノ度ニコレヲ定メル
- 第十條 毎年秋期ニ於テ總會ヲ開キ、研究、調査、見學ヲ行ヒ及ビ會務ノ報告ヲスル
- 第十一條 會費ハ年額金二百八十圓トスル
- 第十二條 會員ハ本會ノ會合ニ出席シ研究、調査、見學、會誌ソノ他出版物ノ頒布ナドニツキ便宜ヲ受ケルコトガ出來ル
- 第十三條 入會ヲ希望スルモノハ會費ヲソニテ教育タイムス社宛申込マレタイ
- 第十四條 本會則ノ變更ニハ余會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ要スベキモノトスル

前 號 目 次

フランス革命と基督教	豊田 堯
近代精神の系譜	石田 一良
京都市に於ける地下水の陸水學的研究	吉田 敬市
清代の械闘	北村 敬直
アメリカに於ける東洋學研究の一動向	田村 實造
——ウイットフォード博士の征服王朝理論について——	
次 號 予 告	
西アフリカに於ける二つの商業形態	岩川 慶治
明清時代の官制陸上交通路	河野 通博
古墳時代に於ける文化の發展と傳播	小林 行雄
上代文化の東漸	樋口 隆康

THE SHIRIN
or the
JOURNAL OF HISTORY
(QUARTERLY)

Vol. XXXIII, No. 2

April, 1950

CONTENTS

- The Age of City-states in China *I. Miyazaki*
The maternal Structure of the Sumerian Family *Y. Nakahara*
Powerful Clans in Ancient Japan *K. Yokota*
A Historico-geographical Study of Cities in
Kinki (近畿) District, Japan *K. Fujioka*

Book Reviews

News from the Academic World

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI
(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan.